

令和3年度 学校関係者評価のまとめ

コロナ禍で、昨年度と同様に、又はそれ以上に制限が多い学校生活が強いられている中、学習指導要領で求められている力が子どもたちに身につくような、よりよい授業づくりを目指して、先生方が日々勉強を重ね、様々な工夫をして下さっていることがたいへんありがたい。特に、大町市全体で取り組んでいる「協働の学び」について、職員同士で研修をしたり、外部の先生を呼んで公開授業を行ったりすることを通して、昨年度以上の成果が見られるようになったと共に、課題がより明確となることで、取り組むべき方向がより鋭角的なものとなっていて、来年度の取り組みに更なる期待が高まっている。今年度見えてきた課題を来年度解決できるように取り組み、もっともっと「協働の学び」の質を高めてほしい。

心づくりでは、学校の教育理念にも掲げられている「互いの尊厳を守る」について、「いじめはいけない」「差別はいけない」という指導はもちろん大切ではあるが、そればかりでなく、なぜ互いの尊厳を守らなければいけないのか、それぞれの学年の実態に合わせながら、1年生のときから具体的に分かるような指導を行うと共に、その指導と一体となった学校生活づくりや学習を進めてほしい。また、その学校生活や学習の中で子どもたち一人ひとりの良さを取り上げながら、一人ひとりの自己肯定感を高めていってほしい。

来年度は開校150周年を迎える。また、その先には学校再編も待っている。子どもたちには、西小の身近にある自然や歴史・文化などに関わった学習に積極的に取り組み、西小の良さや西小で学んでよかったというような思いを感じてほしい。ここ2年間、コロナで思うようにいかなかった部分もあるが、自分達も学校の取り組みにはできる限り協力をしていきたい。

大町市立大町西小学校 学校運営協議会

会長 柳澤 英幸